

生育早く進行！気象に応じた水管理を！！

▼飼料用米も主食用米と同様に、病害虫防除を行ってください▼

1 気象経過と生育状況

【気象経過】

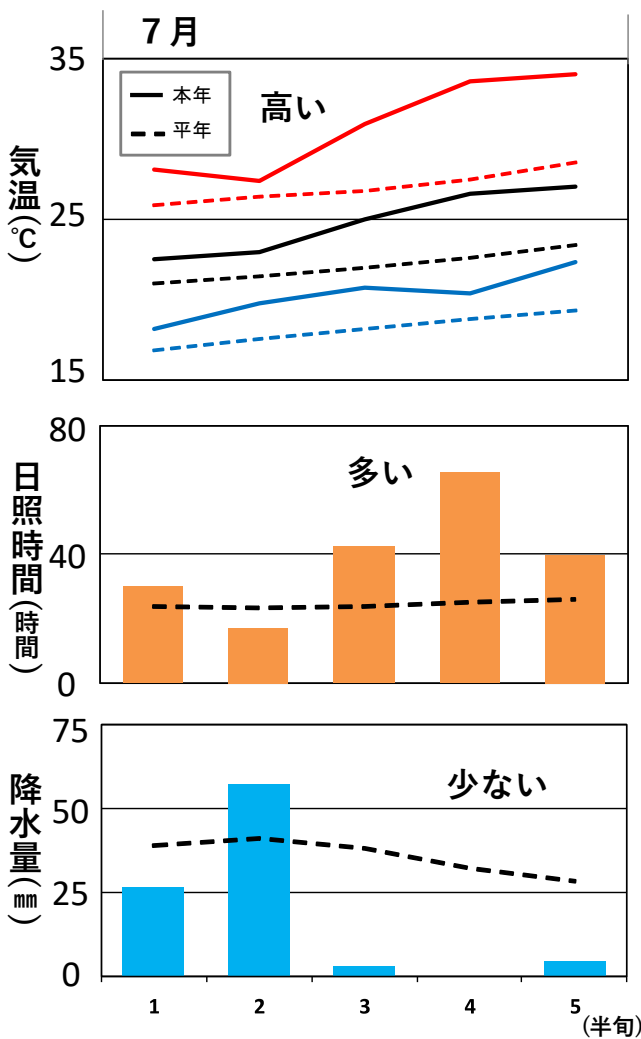


図1 気象経過図（アメダス鷹巣）

【生育状況】

表1 定点調査結果（7月26日・あきたこまち）

	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	葉色
本年	83.9	503	13.0	38.6
平年	72.8	525	12.4	37.0
前年	71.7	526	12.1	38.4
平年比	115%	96%	0.6	104%
前年比	117%	96%	0.9	101%

※平年は過去10か年の平均値

※葉色はSPAD-502で測定した値

表2 出穂期の予測（7月27日鷹巣）

田植日	出穂期
5月15日	7月27日（8月3日）
5月20日	7月30日（8月5日）
5月25日	8月1日（8月7日）
5月30日	8月4日（8月10日）

※あきたこまち中苗。7月27日以降は平年値で計算。
出穂期は全茎数の40～50%が出穂した日。穂が少しでも出ていれば出穂とする。（）内は平年値

○7月26日現在の管内水稻定点調査ほ（9地点、品種あきたこまち）の生育は、草丈は平年よりかなり長く、茎数は平年並、葉数は多く、葉色はやや高くなっています。ほとんどのほ場で減数分裂期を過ぎており、出穂しているほ場も複数見られました。

○葉色が濃いほ場ではいもち病の発生が見られました。

○日平均気温から算出したあきたこまちの出穂期は、中苗の5月20日植えて7月30日頃（平年8月5日頃）と平年より1週間程度早まる予測となっています。

○ほ場内でいもち病の病斑、畦畔や雑草が繁茂したほ場内では斑点米カメムシ類が観察されていますので、防除の徹底をお願いします。

2 気象変化に対応した水管理

- 仙台管区气象台発表の1か月予報によると、向こう1か月の東北地方日本海側の天気は、気温は高く、降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いことが予想されています。管内では30℃を超える真夏日が続くそうですので、適切な水管理を行ってください。
- 出穂期から開花期は水を多く必要とする時期なので、出穂後10日間は湛水状態にして水を切らさないように管理してください。
- 湛水管理をせず中干しのような状態で高温登熟をすると、白未熟粒やくさび米等の被害粒の発生が多くなってしまいます。
- 30℃を超えるような暑い日は、用水の確保が可能であれば、かけ流しかん水など地温を下げる水管理を行い、根の機能減退を防止しましょう。
- フェーン現象などで乾燥した風が強く吹く日は湛水状態を保ち、水分蒸散による稲体の消耗を軽減します。
- ★カドミウム含有米の発生が懸念される地域では、出穂期3週間後まで湛水管理を厳守し、カドミウムの吸収を抑制してください。

3 病害虫防除の徹底

【いもち病（穂いもち）】

- BLASTAM（アメダス）の好適日判定では7月6～13日に好適日が出現しています。いもち病の発生に注意してほ場を見回して下さい。
- 葉いもちの発生があったほ場では、出穂期直前の防除に加え、穂揃い期の防除を行ってください（詳細はコメ通信第7号参照）。
注意：ラブサイド剤（フサライド）を含む農薬の総使用回数は「3回以内」です！

【斑点米カメムシ類】

- 薬剤防除は、1回目にスタークル剤またはアルバリン剤の茎葉散布剤を出穂期10日後頃に畦畔を含めて散布し、1回目の薬剤散布後7日以内に農道・畦畔の草刈りを行います。
2回目の薬剤散布は、多発が予想される場合や牧草地や休耕田に隣接したほ場、水田内に雑草が多発しているようなほ場で、出穂期24日後頃にキラップ剤（使用時期は収穫14日前まで）またはエクシード剤（使用時期は収穫7日前まで）を畦畔を含めて散布します。

	薬剤名	希釈倍数	散布量/10a	散布時期
1回目	スタークル粉剤 DL	—	3 kg	出穂期 10日後頃
	アルバリン粉剤 DL	—	3 kg	
	スタークル液剤 10	1,000倍	150 [㍓]	
	スタークルメイト液剤 10	1,000倍	150 [㍓]	
2回目	キラップ粉剤 DL	—	3 kg	出穂期 24日後頃
	エクシード粉剤 DL	—	3 kg	
	キラップフロアブル	2,000倍	150 [㍓]	
	エクシードフロアブル	2,000倍	150 [㍓]	

- 法面や休耕田等の雑草地は、稲の収穫2週間前までは草刈りをしないでください。
- 近隣に水稲以外の作物（野菜等）がある場合や養蜂業者がいる場合は、薬剤散布前に情報交換を密にして散布を実施してください。

～農業機械使用時には、安全に十分注意して作業を行ってください～

問い合わせはJA、または農業振興普及課まで
HP「北秋田 コメ通信」で QRコードからも→

